

日立シニア会

第14号

発行
平成15年9月1日

大みかゴルフ日立シニア会会報



煙突のある3番ホール 岡村 参次

ボランティア活動

広報委員長 吉田 晴彦



夏坂健氏によれば“ゴルフの幹事はおしなべてお人好しが多い”と言う。当シニア会にも三十余名の委員諸兄が会の運営に尽力されておられる。当初、先輩の懇請等で不承々々引受けた者も任に当れば野武士心が頭をもたげトコトン奉仕しなければ気が済まぬと云った風である。ゴルフを愛する者の報恩の心意気と云うべきか。

閑話休題。圍繞する社会環境に眼を向ける時、数多くの問題に心動くものがあり何分の対処を思わずにはいられない。会員の中には多方面でボランティア活動に従事されている方がおられる。自治、治安、福祉、教育或いは国際協力等での社会報恩の献身的な人々で黙々たる尽力には頭が下がる。

当会の目的は会員の親睦と体位の向上であるが、ボランティア活動の顕在化と言うテーマにも眼を向けたい。発足当時五十名前後の同好会も今や五百名が集う巨材集団、会員皆企業の牽引車であった。世間の期待も種々だが社会報恩は必須の道。

別頁に会員の奉仕活動紹介をお願いしたが道はあしながおじさんの対処もさることながら、額に汗しての奉仕が当会には相応しい様にも思える。昨年来実施の草取り奉仕はその助走で原点とも考える。とまれ身近な可能な事から始め、会員の奉仕活動を扶翼し更に推進力を培いたいものである。

私のボケ防止



A 組
佐野 司

ボケの防止は身体の健康からとゴルフと山歩きを
やっています。ゴルフは専ら平日ゴルフで、気の合
った同士で毎月1回プレーする仲間が3組できたこ
ともあって、ほぼ週1回のペースで楽しんでいます。

山歩きは最近専ら茨城の山々を対象にした日帰り
登山です。茨城の山は高さも千メートル以下の高年
者向きで、また冬もめったに雪が積らないので、家
内と2人で年間を通して楽しんでいます。方々に出

来た日帰り温泉で登山の疲れをいやすのもいいボケ防止です。

ボケ防止の頭の体操には、パソコンと語学（ドイツ語）に取り組んでいます。パソコンは旧職場の
同好の仲間と定期的に集まっては情報を交換したり技術を教えあったりしています。メール仲間も
増えて郵便箱をのぞくよりメールを開くのが楽しくなりました。

ボケ防止には語学が有効だと教えられ、ドイツ語をかじっています。10人ほどの仲間（中高年
男女）と毎週1回水戸に集まって、茨大の先生の指導を受けています。皆でドイツ旅行をしたり、
ドイツ人と文通したり、ドイツの童話を翻訳したりして、和気藹々を楽しんでいます。

ハンディキャップの思い出



B 組
中津川 恵一

私がゴルフを始めたのはS48年である。ゴルフ
好きな上司から、出張時に「時代に遅れる」と誘わ
れ、上野のアメ横で5番アイアンを買わされた。S
60年頃私もMゴルフ場のメンバーになり、クラブ
のHDCP取得のために月例競技会に参加を始め
た。取得に必要な3回目の時、元国鉄の駅長さんだ
ったと言う2人と組ませてもらった。彼らは定年間
もないとのことで、毎週2人でゴルフツアーを楽し

んでいるという。私は初対面だったので緊張していたが、それを察してか1人が私に話しかけてき
た。「日本三大宿を知っている?」。私は一瞬戸惑ったが「新宿、原宿…」後が出ない。すると彼はニ
ヤニヤしながら「それは山方宿だよ、私の所だ」。この2人は佐和駅と菅谷駅の元駅長さんだったと
か。どちらが偉いかでユーモアたっぷりに議論していた。私は緊張の中にもリラックスできた。
彼らは嬉しいだけでなく、職業柄かプレーが迅速でルールとエチケットに厳しかった。この日はグ
ロス82という自分でも驚くスコアが出て、その後HDCP14の認定書が届いた。これは良きパ
ートナーのお蔭だったと感謝している。今ではそれに相応しくないレベルに落ち込んでいるが、相
応しい結果を挑戦目標にして「迅速なプレー」に心がけながらゴルフを楽しんでいる。いやいやなが
ら始めたゴルフではあったが、今では「やっていて良かった」と今は亡き上司に感謝している。

ヒッチコックの鳥



C 組
小祝 宏友

何方でもゴルフの原風景をお持ちと思いますが、私の原風景は「大甕ゴルフのNo.1ホール」です。「松林のはるか彼方に海と空とが見えて素晴らしい原風景」を年と共に感じるようになりました。私の筆下しは「大甕ゴルフ」で、当時は大変マナーに厳しく、ゴルフの前にまずマナーを習得できないとTeeに立てない時代でした。最近はプレーヤーの幅も広く多士済々になりました。先日も午後から

のプレーで、少し空腹に耐えられる様にと、黒糖飴、ビスケットなどをカートのカゴに入れて置いたのですが、ホールが進むうちに少しずつ無くなっていくのです。不思議に思いながら2回目のNo.2とNo.3ホールの松の木の下にカートを止めておいたら、来たんです『頭に黒い冠を着けた奴』が。カートから黒糖飴を1個嘴にくわえて松林に飛んで行くのです。「食糧難でも有るまいし、ゴルフボールから宗派を変えたか」と大変ビックリした次第です。このまま行くと近い将来は「ヒッチコックの鳥」に大甕ゴルフも荒らされるぞ、なんて感じる昨今です。こうならないようお互いに気を付けてプレーしたいもの。

ゴルフとヘラ鮎釣り



D 組
前山 光

私はゴルフ、登山、ヘラ鮎釣りが好きである。今回はゴルフとヘラ鮎釣りには意外と共通点が多いと言う話をしてみたいと思う。ヘラ鮎釣りとは餌を釣り針に付け釣り糸を垂らしてのんびりと餌を食うのを待つだけと傍目には見えるが、(門外漢だった頃の私にはゴルフは止まっている球を打って穴に入れるだけ…と見えていた) 実際には季節、気候、時間帯、釣り場によって嗜好が大幅に変るヘラ鮎を一匹

でも多く釣りあげる為、現在30種程市販されている餌の組み合わせ、配合比率や硬さ等々常に試行錯誤を繰り返す、極めて能動的で経験や判断力を要する我が国固有のゲームフィッシングなのである。従って各種の大会で好結果を得るには数多くの試釣と経験によって種々の状況変化に即応出来る技術と冷静な判断力を養い、実力以上の無理をしたい欲望を抑える事等が大切となる。大会でたまたま上位入賞すれば嬉々として語り、敗者は捲土重来を期するのである。両者にはHDCP制度の有無や数の多少による評価が反対となる相違点はあるが釣り場をゴルフ場、餌の組み合わせ…を道具類、試釣を練習と読替えると外見は全く異なっても内面は非常に似ていると思えてならないのだが？。

鮎川をきれいにする会



A組
黒澤 光明

鮎川のほとりに生まれ清流で産湯を使った私、母が川辺りで朝の米研ぎをしていた姿が懐かしい。その様な生活の全てであった清流が何時の頃からか汚濁し異臭を放つ川になりました。

ふる里の清流を甦らせようとの運動を起ち上げたのは30年程前のことでした。怒涛の如き産業発展の飛沫は私達の生活環境にも及び、実のところ昔の清流を取り戻すことが出来るかの確たる保証は成し得難い不安がありました。然し流域住民の願いは昇華し市民運動のうねりが巻き起こりました。そのうねりは徐々に大河となり清流は見事に甦りました。当初の不安は杞憂に過ぎませんで

した。

今や小学生による鮎の稚魚放流は春の風物詩となり、流域の浄化清掃は市民の定期的活動として定着し、地域住民連帯の絆となっています。

発足当時の不安やジレンマは今は懐かしい思い出で、実現した鮎の遡上を見るにつけ、多くの仲間が仲間を呼び人々の心が一つになった力ほど強いものは無いと改めて実感し悦びに浸っております。



清流に遊ぶ子供達

小さなボランティア



B組
菅谷 恒朗

日立シニア会に入って7年が過ぎました。この間の6年は競技委員として応援をさせて頂き、昨年4月に地域ボランティア活動のため、離任しました。

競技委員だった頃、紅白の帽子をかぶった責任感も手伝って「小さなボランティア」を常に心掛けてプレーをしました。ラウンド中のディポットへの目土入れです。

埋戻しの忘れられたディポットの多いのが目立ちます。芝生の保護、後続組の気持ち良いプレーのため「小さなボランティア」を心掛けています。競技委員離任後は日高地区福祉協議会の一員として、地域社会のため「小さなボランティア」活動しております。

私たちは、自宅での食事の準備が困難なお年寄り世帯への「ふれあい配食サービス事業」や、心身の機能が低下している方を対象とした「地域型のリハビリ訓練事業」など、一人暮らしの方や高齢者の方々が元気で長生き出来るよう支援をしています。また地域の市民自治会と共済する夏祭り、スポレク祭、鳥追い祭り、敬老会などの各種行事にも福祉コーナーを設けて、ボランティア仲間と一緒に活動をしています。

地域の福祉活動は奥が深く、今後の少子・高齢化時代には益々重要性が増してきます。

汗をかき、そして人との交流に情報と喜怒哀楽があります。日常に変化を求め、ぜひ多くの方が地域に目を向けて欲しい、と思う昨今です。



菅谷リーダーと高齢者のリハビリ訓練

ども ども
子供会から大供会へ



B組
青木 昱秀

長男が小学6年生の時、子供会育成会長（大みか学区、約500名）を引き受けました。子供二人がお世話になっていたこと、地域のために働くことは自分のためになると思ったからです。時あたかも高度成長期で毎日遅くまで残業の連続で、仕事と子ども会を両立させることは体力的にも至難の技でしたが、若さで乗り切りました。子ども会の代表として市民活動にも顔を出していたので、子ども会退任後、市民活動の方から依頼があり、地域の活動に参加することは、会社のイメージアップにもなる

と思い受けました。私のボランティアは子ども会から大ども会へ移行することになりました。そんな訳で約20年来、大みかコミュニティ推進会の広報部で「大みか市民報」の編集を続けています。

熟年のお母さん達と和気あいあいに余り責任を感じないで、気楽にやっています。これがボランティアの良い所で、また長続きする秘訣ではないでしょうか！

現役の頃から続けて来たので、地域の方々と幅広く知り合え、さきの金砂大祭礼では大みか会場に案内所を開いたり、仲間の石井さんが市議に当選したり、結構楽しく、忙しく活動しています。



広報誌 編集風景

私のボランティア活動



B組
桜井正一郎

地域の青少年育成活動に参加しているが、薬物・非行・環境などの難しい課題が多く、自分の役割がなかなかみつからない。しかし、自分の好きな「ものづくり」の分野なら貢献できそうに思い「工作教室」の普及に努め、自分らしいボランティアができるようになった。現在「みねこクラブ」の活動を楽しんでいる。このクラブは日立神峰動物園に足を運んで下さった方々の思い出づくりを支援するグループで、動物の羽毛を活用した特製グッズの製作・販売、園内ステージ活用のイベント計画、園内の環境整備などを行っている。ある機会に「おもちゃづくり」を提

案し、これが認められ、私もコーナーの担当として、活動の輪に加わった。園内資料館の一隅にコーナーを設け毎月第1日曜日に活動しているが定着しつつある。勿論簡単な他愛のないおもちゃで、フラミンゴ、くじゃく、ホロホロ鳥等の羽根を活用した鳥形やじろべえ、みねコプター（バルサ材の大形竹とんぼ）、手作り金魚のメリーゴーランドなどに人気がある。ものづくりは人と人とのふれあいの場として大切で、子供達・親達・家族・スタッフの笑顔の輪は思い出に残ると信じている。これからも“楽しみながら喜ばれる”をモットーに頑張りたい。



みねこクラブメンバー 動物園にて

外国からの若者との交流



C組
高坂 七三

定年を迎えた時、特に特技も無い小生だが、何か外で楽しく出来そうなものはないかと探していたら、「外国人に日本語を教える」主婦中心のボランティアグループがあることを知った。多少のためらいはあったが見学に行ってみると、暖かく迎えていただけたので、そのまま仲間に加えてもらった。

「フレンドリーあんず」は国際交流を目的としたグループで、そのうちの一つの活動が「外国人に日本語を教える」ことである。日立市には、留学生・技術研修生・英語指導助手・主婦（あるいは主夫）など、東南アジアを中心として世界中の国々から大勢の外国人が来ておられる。そのうち約30人が私達の熱心な生徒である。

日本語を話せるから必ずしも教えられるという訳ではないが、大昔学校で習った(?)文法の知識は幸いな事に不要で、20~30時間ほどの短期研修をうけ、少し教える訓練を積みばなんとかなる。グループレッスンで各国の生徒が入り混じっているから、勿論授業はほとんど共通語の「日本語」で進める。生徒達は実に熱心で真面目、従って進歩もはやい。人間的にも素晴らしい人達だ。毎週2時間だが、会えるのが待ち遠しく下調べにも熱がはいる。今はのめり込んで、昔の職場への出前授業も含めて3クラスを担当させて貰っている。ゴルフが肉体的な老化防止に役立つなら、若い人達からいい刺激を貰っていることは、精神的な老化防止の特効薬だと思っている。そしてまた、老後のささやかな国際親善だとも。



高坂クラスの生徒と

自警団結成に携わって



C組
幸田 智一

退職するまでは、仕事一筋の人間でいたいと言う我侭を押し通し、地域との関わりを出来るだけ避けてきた私が、自治会の支部長に選ばれるとは、なんと皮肉な巡り合わせだろう。それが自警団に係わる発端だった。昨今、他団地で多発している盗難事件に鑑み、このまま手を拱いては、対岸から迫り来る飛び火を防ぐことが出来ない。なんとかしなければと悩んだ末、自警団で守ることを役員会で決断し、「連帯の絆で安全で住みよい街を作ろう」をモットーに、団地住民に自警団の結成を呼びかけた。当初は今一の反応だったが団地住民の高い防犯意識が自警団への関心に繋がり、最終的に予想を遥かに上回る百

十名が入団され内心ほっとした。この盛上がりやりに背に、5月4日に、盛大に発足式を行い、晴れて成沢団地自警団の誕生となったのである。「蛇に睨まれた蛙」、睨みは相手の行動を抑止することができ、時には腕力をも凌駕する。自警団は将に睨みの抑止力で泥棒を撃退することにある。従って防犯パトロールは、監視が主目的で、腕章、笛を携帯し、散歩のついでに、団地内を巡回するという気楽な気持ちで取組んでいる。今はまだ緒に就いたばかり、多くの団員同士の交流が、やがて心のふれあいの大きな輪となって、防犯とは別の意味でも明るく生き生きとした街づくりに、役立てばと密かに期待している。

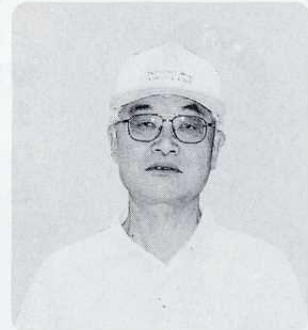


防犯指導を受けながらパトロール実習する自警団

ホールインワン達成!

平成15年7月3日 第179回競技会
大みかコース3番ホール

B組 正岡 功



今回、18年前について2度目のホールインワンを達成でき感激しています。この舞台を演出していただいた同伴者の菅谷さん、石川さん、東屋敷さんに感謝いたします。朝、前回の優勝者は1番スタートのオーナーを務めるといわれ、慣れないリーダーマークとマナーカードを渡され少々緊張していました。しかし、同伴者の皆さんがこの緊張をほぐしてくださり、和やかな雰囲気ですスタートでき、調子よく3番ホールにきました。菅

谷さんに続いて8番アイアンで打ったショットは感じよく手応えがありました。高く真っ直ぐピンに向っていき、グリーンに落ちて1度弾んでカップイン。目の悪い私には最後のカップに入る瞬間は見えませんでした。が入った、ホールインワン」との声で気づきました。その時は、カップインした嬉しさよりしっかり真っ直ぐ感じの良いショットが打てたことに満足し、すぐには実感がわきませんでした。皆に助けられ、気持ちが充実した状態でショットができた結果のホールインワンであったと思います。この気持ちを大切に今後も精進したいと思います。

☆ ご意見コーナー

会員皆様のご質問をお待ちします。

Q. 『30年の歩み』を元会員の先輩に寄贈したいが? (A組 IT)
A. 残部若干あり、償却上@1,000円でお頒けします。 (総務委員会)

Q. 競技会当日くらいは本グリーンでプレーしたいものですが? (A組 SK)
A. 1. 原則として本グリーンを使うようにしております。
(芝の手入れ、施肥作業等の都合で補助グリーンとなる場合もあります)
2. 冬場の5番は補助グリーンです。
3. 片側8組以上の場合、進行上6番は補助グリーンです。 (競技委員会)

Q. 懇親会のメニュー見直しを。ビールで祝杯の昔とは違うのでティーブレイク (EX.紅茶とビスケット)程度で如何。会費も安くすむのでは? (B組 MY)
A. ご助言感謝。ご趣意の如く会費を値下げ致しました。 (競技委員会)

お元気ですか？

「がん」について

日立総合病院 院長 岡 裕爾



「がん」という言葉は、すべての状況において忌み嫌われるものの代表となっていますが、今の時代では、「がん」と診断された方の中にも、治療により多くの方が「がん」を完全に消滅させることができるようになりました。それは、早期発見の技術の進歩に加え、診断がより精密に行われるようになり、治療法の選択が最良の結果を得るようになってきたことと、内視鏡治療・化学療法・外科治療・放射線治療など、それぞれにおける治療法の発達によるところが大きな要因となっています。「がん」の発生は、遺伝的な素因のほか、食物や嗜好物の影響によるもの、紫外線や環境汚染物質によるものと、加齢による因子が主なものです。身体の構成成分として基本の単位である細胞に、成長や変化の設計図としての遺伝子がありますが、遺伝子における特異な変化のいくつかの事象が「がん」へ結びつくこととして判ってきています。ただ、単一の変化が、すぐに一つの「がん」に結びつくわけではなく、複合した変化が重なって初めて「がん」の発生をみるわけで、遺伝子検査のみで全てを予知できるわけではないのが、難しいところです。

何と言っても、「がん」を克服する最大の要件は、「がん」にならないように予防することです。「がん」の予防については、国立がんセンターから以下のような12か条が提唱されています。

1. バランスのとれた栄養をとる。**2.** 毎日、変化のある食生活を。**3.** 食べ過ぎを避け、脂肪は控えめに。**4.** お酒はほどほどに。**5.** タバコは吸わないように。**6.** 食べ物から適量のビタミンと繊維質のものを多くとる。**7.** 塩辛いものは少なめに、あまり熱いものはさましてから。**8.** 焦げた部分は避ける。**9.** かびの生えたものに注意。**10.** 日光に当り過ぎない。**11.** 適度にスポーツをする。**12.** 体を清潔に。これらのいずれの内容も科学的根拠が明確なものであり、これらを毎日の生活において習慣付けて実行することが大切となります。

次に大切なことは、検診による早期発見です。集団検診の功罪については、しばらく前に姦しいほどの議論がありましたが、多くの検診についての有用性が明確になってきています。胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん、前立腺がんについては、通常市町村検診や人間ドックの方法で基本的に宜しいわけですが、肺がんについては、CTによる検診が必要です。日立、ひたちなかや東海地域では、市町村を含めて多くの施設で肺がんのCT検診が受けられるようになっていて、全国に先駆けて先進的な肺がん検診実施地域となっています。これまで肺がんと判ったときには、外科的手術の治療も受けられないとか、手術しても完治しないとか、進行した状態の肺がんしか見つかりませんでした。しかし、CT検診によれば、早期の状態で見つかり、内視鏡的手術で完全な治療ができて、早期に社会復帰も可能となりました。繰り返しになりますが、定期的ながん検診を受けていただくことが、なによりも必要です。検査をしなければ、早期の状態で見つかりませんし、完治を期待することができません。

嬉しいことに、日立総合病院では、来年4月ころにPET（陽電子断層撮影）装置が導入される予定となっており、皆様はPET検診も受けられるようになります。PET検査では、胃がんを除く多くの種類の「がん」を、より早期に見つけることができるようになりますので、この地域の「がん」の治療成績が更に向上することが期待されます。



地域がんセンター棟（日立工業高校側より）

ご趣味紹介

山歩き

柏木 光義氏

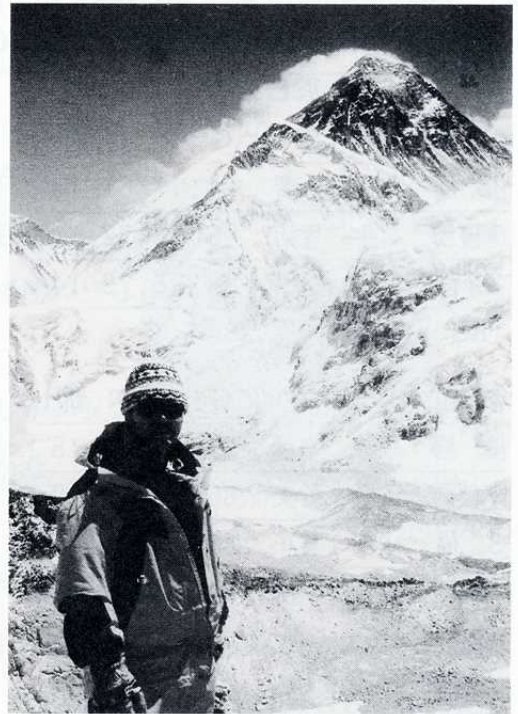
ある席で趣味を紹介する段になって出任せに「山歩き」です、『日本百名山』の完登を目指していると言ってしまった。

以後せっせと通って、最初の富士登山から足掛け50年で、常念岳を最後に目標を達成した。これも有言実行のお陰？

増水した川で渡渉が出来ず、再挑戦の時も流れが激しく腰まで浸かって登った幌尻岳、豪雨と霧に捲かれて道をなくした九重山、山巡りをしている間にデポしたザックを盗られた御岳などそれぞれに思い出がある。

ゴルフではクラブを杖代わりにホール境の林や土手を歩くことが度々、仲間からは山登りの訓練かと冷やかされている。

相乗効果が上がるように今後も山登りとゴルフに励みたい。



ネパール側からのエベレスト

日立シニア会 ローカルグループ紹介

おおみかけんさん会

幹事長 吉田 襄三

「名は体を現す」と言いますが、何とも変った題名です。ゴルフ歴は長いですが、我流一徹、素質の無さがわざわざいって、一向に昨今の景気低迷ではないが、ますます下降ゴルフに終始している。こうした中、一つだけ気合の入るゴルフがある。それは本年で八年目になるが、会社同期で退職順に編成した四人会であります。

これがまとまりの良さは他に自負するところでありまして、内容は毎月1回、おおみかコースに集い、オリンピック戦を交えて白熱したゲームを展開します。ハンデ頭ひょうひょうとした大貫さん（ハンデ23）、マイペース米川さん（ハンデ32）堅実吉田（研）さん（ハンデ24）、ぼやきの吉田（襄）（ハンデ27）と、半年間の実績で無理のないハンディキャップです。それぞれ特徴があり総じてどんぐりの背比べがよく、前半の失敗も饅頭グリーン、6番ショートのパンカーに逆転のドラマがあり、ゲームを面白くしています。またオリンピック基金は全て会に拠出、まとめて懇親会費用に充当します。

斯くして、昨年は厳しい状況の中にも、皆元気に和気藹々のゴルフができました。そこで、本年は下降ゴルフの歯止め、気概を込めて、会の名をメンバーの名前から、それぞれ一字ずつ取り、おおみかけんさん会（大川研三会）と名付けて、気分新たに更なる発展を念じ精進するつもりであります。



競技会成績

第177回競技会成績

於日立ゴルフクラブ

☆ A組	H15. 4.10	G	H	N	新H
優勝	柴田 廣	84	17	67	10
準優勝	二平 豊治	85	13	72	11
3 位	石崎 幸	88	16	72	14
BG	柴田 廣	84			



柴田 廣

30周年記念の年、A組高島さん、C組渡部さん、吉田さんの豪快なショットに励まされ自分でも驚くスコアで優勝出来感激、新ハンデは厳しいが、更に挑戦し続けたい。

☆ B組	H15. 4.17	G	H	N	新H
優勝	戸波 宗彦	91	20	71	15
準優勝	佐藤 幹夫	86	14	72	12
3 位	山内 益正	88	16	72	14
BG	涌井 滋	84	同点久保英章		



戸波 宗彦

OGS, HSGを通じて初の優勝、文字通り図らずもの幸運に恵まれ感激一入です。これも良き同伴者の佐藤清、鈴木令、井上3氏の絶妙のペースに触発されたことが好結果に結びつきました。感謝。

☆ C組	H15. 4.10	G	H	N	新H
優勝	幸田 智一	88	20	68	13
準優勝	吉田 至	101	33	68	25
3 位	池上 久也	77	8	69	5
BG	池上 久也	77			



幸田 智一

同伴者(岡田、熊澤、須田)に恵まれた上に、チップイン等のバカツキとハンディキャップに助けられた優勝でした。次回からは反対側からの挨拶者には絶対にならぬという強い気持で精進したいと思います。

☆ D組	H15. 4.17	G	H	N	新H
優勝	広瀬 英貴	83	19	64	9
準優勝	内田 芳勲	84	14	70	10
3 位	茂刈 武人	89	19	70	15
BG	小西 健司	78			



広瀬 英貴

満開の山桜で心晴ればれ、本人もビックリの好スコアでした。シニア会先輩諸氏の教を大切に、これからも限りなくシングルへと精進したい。仕事を終えた老後を好きなゴルフで元気ハツラツ全開。

第178回競技会成績

☆ A組	H15. 5. 8	G	H	N	新H
優勝	高島 祐吉	61	15.3	45.7	16
準優勝	須貝 弘	71	24.0	47.0	30
3 位	大内 政男	59	11.3	47.7	15
BG	坊坂 明	58			
			(降雨のため 2ラウンド)		



高島 祐吉

まずはパートナーの方々に感謝申し上げます。降雨のため、2ラウンドでの優勝は一寸気がかり？これもつきと云うもの、オールラウンドでのVを目指し頑張ります。

☆ B組	H15. 5.19	G	H	N	新H
優勝	正岡 功	103	29	74	23
準優勝	中野 修一	96	20	76	17
3 位	小野寺 敬	93	15	78	13
BG	橋本 宏	89			



正岡 功

雨で延期となり参加人数も少なく皆さんがスコアを崩されたお陰で+2のスコアながら初優勝でき幸運でした。同伴の植田氏、高月氏に引張られ、後半ショット、パットが良くなりスコアが纏まったと感謝します。

優勝者のことば

☆ C組	H15. 5.22	G	H	N	新H
優勝	平石 清登	89	20	69	14
準優勝	岡田 伸一	78	4	74	3
3 位	海老根克明	82	7	75	6
BG	岡田 伸一	78			



平石 清登

定年前、老後の楽しみと始めたゴルフ。飛距離だけ、大叩きと痛めた頸椎のリハビリを繰り返す。65才前、夢もしなかった優勝、ハンデと良き同伴者のおかげです。感謝です。

☆ D組	H15. 5.29	G	H	N	新H
優勝	稲田 周三	77	11	66	4
準優勝	松坂 矯	87	18	69	13
3 位	前山 光	93	24	69	19
BG	稲田 周三	77			



稲田 周三

平成14年4月に競技委員を拝命し、シニア会のゴルフを楽しんできました。自己のベストスコアを記録できたのは、委員として大みかGCに親しんできたお陰と感謝致します。

第179回競技会成績

☆ A組	H15. 6.26	G	H	N	新H
優勝	茶園 悦男	93	25	68	17
準優勝	山本 清	100	27	73	23
3 位	川松 文夫	91	17	74	15
BG	川松 文夫	91			



茶園 悦男

昨年入会し、約7ヶ月目で優勝させて頂きました。これはひとえに同伴者（吉田、川松、桜井氏）のお陰と心より感謝しております。いつまでも楽しいゴルフが出来るよう努力したいと思っております。

☆ B組	H15. 7. 3	G	H	N	新H
優勝	佐藤 幹夫	83	12	71	9
準優勝	吉田 善一	85	13	72	11
3 位	小又 洋次	85	13	72	12
BG	佐藤 幹夫	83			



佐藤 幹夫

これまで準優勝を4回経験していましたが、優勝は初めてです。良き同伴者（木暮、林両氏並びに競技委員の阿部さん）と好天気にも恵まれたためと感謝し、感激しております。

☆ C組	H15. 7.10	G	H	N	新H
優勝	出村 吉晴	92	25	67	16
準優勝	高橋礼次郎	89	17	72	14
3 位	渡部 登	92	19	73	17
BG	池田 忠禧	82			



出村 吉晴

いつもは崩れる3ラウンド目、酒井さん、小林(啓)さん、白石(久)さんの良き同伴者の励ましに支えられ、ツキにも恵まれて、本人もビックリの初優勝。次回も…ナーンテ、夢を追う元気を戴きました。

☆ D組	H15. 7.17	G	H	N	新H
優勝	田中 治彦	89	19	70	14
準優勝	大内 興次	100	27	73	23
3 位	山野 邦雄	84	10	74	9
BG	小西 健司	81			



田中 治彦

シニア会に入会し3年目にして、やっと優勝できました。月に2～3回大みかでラウンドしているお蔭でグリーンの隅々まで分り、1パット9回でスコアを纏めました。

● 第2回 チャンピオン決定戦 ●

渡部正義氏ベスグロ・制覇

有資格者 75名 参加者 39名 参加率 52%!

入賞者は

- A組 参加者 9名中入賞7名と 健闘!
 B組 参加者 8名中入賞4名と 謙虚?
 C組 参加者 8名中入賞2名は 意外!
 D組 参加者14名中入賞7名は 深謀?



写真左から

準優勝・涌井氏 優勝・渡部氏 第3位・橋本氏

入賞者

平成15年4月24日

順位	氏名	組	G	H	N
優勝	渡部 正義	C	78	8	70
準優勝	涌井 滋	B	83	11	72
第3位	橋本 宏	B	83	10	73
4	牛田 義幸	D	85	12	73
5	笠井 大史	A	91	18	73
6	今井 信一	D	81	7	74
7	鈴木 静二	B	85	11	74
8	竹下 一成	D	85	11	74
9	柴田 廣	A	92	17	75
10	小西 健司	D	80	4	76
11	赤塚 淳	A	94	18	76
12	海老原鎮男	A	96	20	76
13	久保 英章	B	81	4	77
14	畔野 信政	D	85	8	77
15	坊坂 明	A	88	11	77
16	中野 文夫	C	92	14	78
17	下 昭次	A	93	15	78
18	金子 義和	D	96	18	78
19	池上 久也	D	87	8	79
20	阿部 章	A	93	14	79

※組は、平成14年度入賞時で示す。

昨年の第1回に引き続き第2回となる平成14年度シニア選手権競技会が開催された。朝の天気予報の傘のマークが気になるこの日、雨雲を吹き払う様な霧笛をはるかに聞きながらティオフ。

出場選手諸兄39名の日頃の徳行の所以か終日曇天ながら18℃、微風と好条件の一日。コースは施肥作業の都合にて補助グリーン、冬場の早いグリーンから一転して春の新芽萌え逆目は微妙な大みか特有のグリーンとなり選手各位かなりの苦戦を強いられた。

然しながら流石はマスターズとあって日頃の経験と秘技を駆使してのラウンドを展開!ただ一人アンダーを記録されたC組渡部氏がベスグロでチャンピオンの栄誉を手になされて優勝の喜びに満面の笑みを浮かべ、この日のラウンドを嘯み締めるかの如くに挨拶、会員の祝福に包まれた。

『3パットのボギーで始まり、4ホールで5オーバーと最悪のスタートで、“本日はこれまで”と思われた。その後、ショット、パット共に安定し3バーディがでて挽回、奇跡のBG優勝ができて感謝しております。

今日のBG優勝は、4月生まれの私への自らの最高のプレゼントであり、更に日立シニア会の頂点に立てたこと等二重の喜びで一杯です。これもご同伴いただいた竹下一成氏、中島正夫氏両氏の励ましのお陰と、心より感謝申し上げます。

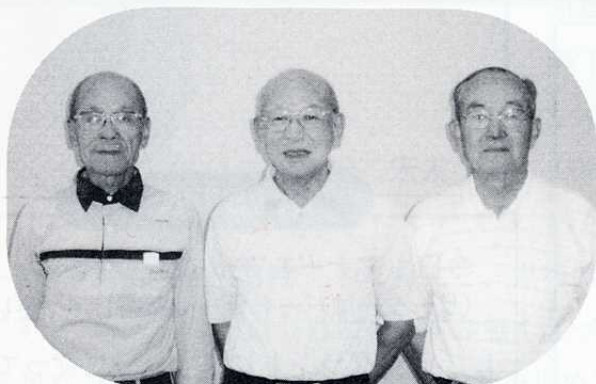
来年の連覇に向けて、日々努力していきたいと思っています。ありがとうございました。』

(優勝者・渡部正義氏談)

席上では早くも来年の選手権にも話が及び健闘を誓い合う会話が交わされる等、阿部競技委員長の軽妙な司会とも相俟って和やかな表彰懇親会であった。

大正ゴールドコンペ開催

大正の大將は齋木翁！BG・NPと大勝



写真左から

準優勝・石崎氏 優勝・齋木氏 第3位・高橋氏

A組は70才から88才までと老若同舟？で、大正世代の人達は、入賞の機会が少なからうとの粋な計らいで計画された。

当日はハナ・ハト・マメ世代の大正生れ会員53名のなかから、腕に覚えのある23名が参加された。参加率44%、各組に競技委員1名が加わるという年輩者への気配りもあった。

梅雨入り間近かに発生した台風5号も南洋上にそれて、心配された風も弱まり青空の下、勝手知ったるコースで日頃の腕を競い合った。

その結果、当會長寿十指に入る大正一桁の齋木氏が見事優勝された。

『目が悪いので同伴者を気遣ったが、旧知の石崎さんと皆川さんと判り一安心。よし今日一日はお世話になろうと、心に決めたら肩の力が抜けたようだ。』

第一打、苦手の1Wだったがナイスショットのかけ声、快調の出だし。ボギーで上がる。この後ダボが出て、1回目の目標のボギー未達。2回目以降はダボなし、ショートホールのパーが効いて、グロス89は自分でも驚くスコア。皆様のお世話で楽しくプレーさせて頂いた事を感謝します。』

(優勝者 齋木 虎夫氏談)

観戦記

競技委員長 阿部 章

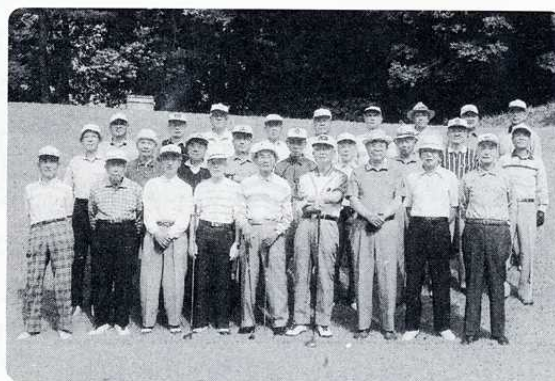
暑からず寒からずの好天に恵まれ、カートを引いて3ラウンドを歩かれたのは、さすが!!5番の坂はさぞきつかつたろうと想像されます。

3年振り参加の齋木さんがベスグロ優勝はご立派で、大正8年生まれとは思えない程のお元気さでした。皆様これからもお元気で活躍され、私達のお手本になって下さい。

入賞者

平成15年6月5日

順位	氏名	G	H	N
優勝	齋木 虎夫	89	16	73
準優勝	石崎 幸	89	14	75
第3位	高橋 清	100	25	75
4	鷺山 重也	101	26	75
5	宮田 賢	104	27	77
6	海老原鎮男	98	20	78
7	須田 長治	105	26	79
8	結城 正康	104	24	80
9	青木 忠	95	14	81
10	石川 武重	101	20	81
11	菅原 寧	112	30	82
12	宮澤 寿郎	119	36	83
BG	齋木 虎夫	89		
	石崎 幸	89		



エチケット委員会

マナーカード

前号に続き、既配付の「マナーカード」を収録します。

第12回配付

今日もマナーを守って頑張りましょう
(リーダーはパートナーに徹底して下さい)

1. スロープレーは、プレーの流れを止め、後続の組に迷惑を掛けます。パートナー同士で注意あいましょう。
2. OB、紛失球の恐れのあるときは必ず暫定球を打ちましょう。
3. パートナーの球は、お互いによく見ていきましょう。球探しは全員でしましょう。
4. ホールアウトしたらクラブを確認して速やかにグリーンを立ち去りましょう。

第13回配付

今日もマナーを守って頑張りましょう
(リーダーはパートナーに徹底して下さい)

1. ティグラウンドには、打順に従って一人ずつ入りましょう。
2. 打者の後方に立ったり、動いたり、私語は禁物。
3. ショット後のターフは元に戻し、目土をしましょう。

ルールミニ解説

ルールの紹介をさせていただきます。

Q. 暫定球の基本ルールは

当然のことばかりですがご参考までに。

A. はじめの球がウォーターハザードの外で、紛失あるいはOBの恐れのある場合は、時間節約のため、遅滞なく暫定球でプレーすることが出来る。

但し1：初めの球を探しにでかけるまえに、且つ

2：暫定球でプレーすることを宣言することが必要

3：上記の2項を守らずに別の球でプレーすると、その球が即インプレーとなり、最初の球は 紛失球 と見做される。

思わぬトラブルに動揺して、宣言せずにプレーしがちなので、注意が必要である。

尚、暫定球が、初めの球があると思われる場所又は、その場所よりホールに近い地点からストロークした場合は、その暫定球が即インプレーの球となる。

又、探し始めて5分以内に見つけた最初の球がインバウンズのときは、暫定球を放棄し、その球でプレーする。

30年の歩み編纂委員会

〔三十年の歩み〕 発刊についてご協力をご感謝申し上げます。記載事項に誤りがあり、お詫びを申し上げ訂正させていただきます。

* 年表64頁H4年青木忠氏幹事新任と記載しましたが、正しくはS60年の誤り。

* 座談会委員長放談17頁H8年総務、競技、エチケット委員会発足と記載しましたが、正しくはH5年に総務（委員長一木利信氏）、競技（委員長鈴木三郎氏）、エチケット（委員長青木忠氏）の各委員会が発足した。

総務委員会

1. 会員数現況

(人)

組	年齢区分	前年度 H15. 3.31	入会	退会	現在 H15. 6.30
A組	70歳以上	142		11	131
B組	67~69歳	132		6	126
C組	64~66歳	136	3	4	135
D組	60~63歳	79	16	4	91
合計		489	19	25	483

2. 新入会員 (H15. 4. 1以降)

No.	入会	氏名	組	HD	出身
1	4月	小林 謙吾	D	18	(化)
2	4月	大内 興次	D	?	(線)
3	4月	小杉 仁	D	14	(日)
4	4月	高山 省三	D	25	(線)
5	4月	堀内 俊雄	D	13	(日)
6	4月	新井 康彦	C	20	(多)
7	4月	酒井 逸平	D	24	(化)
8	4月	樋口 修	D	20	(国)
9	4月	藤田 功	D	17	(日)
10	4月	山野 邦雄	D	10	(水)
11	4月	佐藤 宏	C	?	(化)
12	4月	丸山 勝也	D	18	(国)
13	5月	向尾 正昭	D	21	(化)
14	5月	星野 和貞	D	11	(日)
15	5月	松尾 孝	D	10	(素)
16	5月	白石 久敬	C	20	(お)
17	6月	菅原 宏之	D	23	(電開本)
18	6月	市場 節男	D	12	(日)
19	6月	大島 義邦	D	11	(日)

3. 退会者 (H15. 4. 1以降)

No.	退会	氏名	出身	組	事由
1	4月	秋山 幸夫	(多)	A	健康上
2	4月	小林 康浩	(国)	B	自己都合
3	4月	織田澤信昭	(水)	B	健康上
4	4月	大島 和夫	(線)	B	自己都合
5	4月	河野 広実	(線)	C	健康上
6	4月	片淵 武昭	(国)	C	自己都合
7	4月	大川 留秋	(日)	A	健康上
8	4月	倉持 義徳	(本)	A	自己都合
9	4月	笹間 純也	(珂)	A	自己都合
10	4月	遠藤 昭儀	(線)	A	自己都合
11	4月	黒沢 秀一	(国)	A	健康上
12	4月	菅野 洋	(線)	D	自己都合
13	4月	高畑 紀雄	(線)	D	自己都合
14	4月	吾妻 正信	(線)	A	自己都合
15	4月	安藤進一郎	(珂)	A	自己都合
16	4月	佐藤 正明	(国)	B	健康上
17	4月	石田 康彦	(計)	D	自己都合
18	4月	大谷 弘容	(国)	D	健康上
19	4月	小野 裕	(勝)	A	自己都合
20	4月	岡田 健治	(線)	C	健康上
21	4月	肥沼 忠男	(と)	A	自己都合
22	4月	嶋野 末吉	(日)	B	健康上
23	4月	小倉 慧	(日研)	B	自己都合
24	4月	斎藤 康示	(珂)	A	自己都合
25	5月	長谷部信雄	(線)	C	健康上

4. コース除草作業 協力御礼

梅雨の晴れ間に恵まれた6月18日ボランティア会員約30名が早朝から大みかコースの除草作業に汗を流しました。

日頃の感謝の意を込めて奉仕しましたが、おおばこやタンポポなどの根深さに苦戦しながらも緑の絨毯に親しみ楽しく作業しました。終了後、一木副会長差し入れの清涼飲料に喉を潤して暫し歓談、散会しました。奉仕会員の皆様本当にご苦労様でした。

5. 年会費納入のお願い

ご承知のように年会費(¥3,000)はHSG運営の重要な財源ですが、毎年督促されるまで納入されない方がおり、会計担当者が悩まされております。

年会費は、その年の第1回目の競技時に納入して頂く事になっておりますが競技会に参加できない方は銀行振込の方法も有りますのでよろしくお願い致します。

振込先 常陽銀行久慈浜支店 口座番号 普通 0468680
 名前 日立シニア会代表 佐藤 式也 (サトウ イチャ)

新人です！よろしく。

大みかクラブ新支配人 鈴木 清己氏



昨年9月より支配人を拝命した鈴木です。微力ですが皆さんが愛し育ててきた歴史と伝統ある当クラブの発展に向け頑張ります。

ご指導宜しくお願い致します。

大みかゴルフクラブ新事務長 木村 隆年氏

13年前初めてコースに出たのが大みかコースで松林に入って大変難儀しました。

縁あって、この度勤める事になりました。シニア会の皆様、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



小野さん、木村氏、棚辺さん

シニア山柳

リカバリー打ったつもりが最悪ショット
初優勝ブタも木に登らず同伴者
一応は風読んだつもりがチョロショット

渋谷 洋

「イメトレ」のコースと違うティショット
「タラレバ」を重ねてまたもBB賞
BB賞この次こそはと決意述べ

谷中 雅雄

机上ではどう考えても72
チェック表数多過ぎて腰いたため

戸波 宗彦

優勝し女房の態度が急変す
心技体分かつちやいるけどシニア体

広瀬 英貴

打過ぎて軌跡を辿り数え出す
どうしてやいやな方へと吸い込まれ

幸田 智一

鶯がボールが来たよとホーホケキョ
打った球的をはずれて鳥落とす
(昨夏、B組コンペ4番ホール第2打での出来ごと)

高島 祐吉

古池や駄球とび込むミスの音
ティショット当り出す頃また通院

平石 清登

優勝も上り8スコアで今一つ
ピン見えた樹間を指すが大たたき

正岡 功

腰痛ひざ痛五体カタされど評論おとろえず
いつからか女房賞品欲しがらず
調子にはよい日わるい日普通の日
心せよあんまり飛ばすと飛ばされる

二平 豊治

良い日無くせめて普通の日が欲しや
久保寺朝二

八十二越え二千回プレーまた楽し
二千回芝踏み地球半周す
二千回良きパートナー五千入
三好 幹人

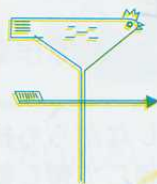
A組に歳下が増え老い深む
宮田 賢

ふとよぎる雑念ショットのミス招く
植田 光

世は情ゴルフはBB有り難し
BBはハンデのせいだと負け惜しみ
「たられば」の入る余地なしBB賞
挨拶は教え守って末席で
次回こそ雪辱しますと空元氣
星野 和貞

ブービー賞いい訳出来ず悩むスピーチ
シニア会参加に意義ありブービーおそれず
多叩きショットの瞬間よぎるブービー
栄ある？ブービー二度あることは
三度あるかも
根本 清

又シヤンク鳥もあきれて首かしげ
ナイスオン鶴鶴尾を振りオベイション
ニヤピンは後が有利と風見鶏
結城 正康



編集後記

★ボランティアといえば、主婦が中心の寝たきり・痴ほうなどの支援のみと思われがちであるが、本号の特集記事のようなコミュニティ活動も立派なボランティアであり、たずさわる会員も多い。ゴルフで培われた体力・気力・人との交わりが、社会貢献という境地にまで高められてきた。次号も引き続き紹介したい。

★大正ゴールドコンペは「三十年の歩み」の委員長座談会での放談が“瓢箪から駒”となり開催につながったという。永続させるためには喜寿を迎えた昭和世代も含めてはとの声もあり、されど大正ゴールドの名も捨て難い。

広報委員 宮田 賢